

高耐久・低汚染型水性セラミックシリコン樹脂系単層弾性塗材

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

セラミクリーン[®]

低汚染

CERAMICLEAN

JIS A 6909 建築用仕上塗材
防水形外装薄塗材E 認証取得製品
(セラミクリーン(艶有り)、
セラミクリーンタイル)

セラミックシリコン
樹脂系塗材が
汚れを防ぎ、建物の寿命を
大きく延ばします。

- 高耐久
- 低汚染
- 防かび
- 防藻
- 防水
- 透湿
- 水性



住宅の塗り替えには、耐久性が高く、汚れ難い塗料をお選びください。

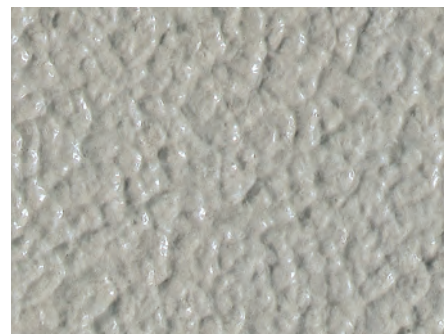
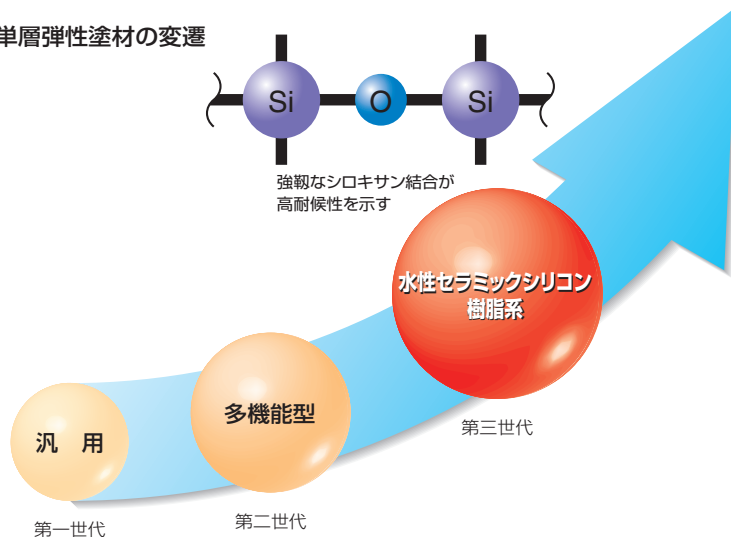
高耐久・低汚染型水性セラミックシリコン樹脂系単層弾性塗材

セラミクリーン CERAMICLEAN

セラミックシリコン樹脂系の単層弾性塗材が、より美しく、より強く、より長く、建物を保護します。



単層弾性塗材の変遷



第一世代 複層仕上塗材が見直され、工程短縮、省力化から単層弾性塗材が昭和50年代に誕生しました。

第二世代 「防水性」に「低汚染」、「防かび・防藻」、「透湿」など多くの機能が付与されました。

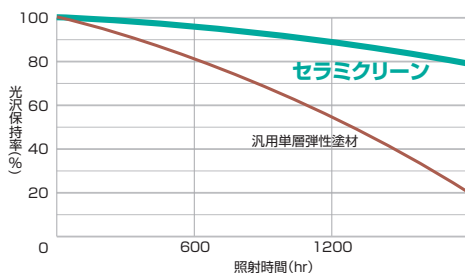
第三世代 セラミック成分を複合化したセラミックシリコン樹脂をバインダーとすることで、「耐久性」、「低汚染性」がさらにアップしました。



近年、塗り替えでは、より耐久性の高い材料が求められるようになってきています。セラミクリーンは、弾性セラミックシリコン樹脂の応用により、従来の塗料に比べ、耐久性を高め、弾性機能を持ちながら、汚染しにくい塗膜を実現した高耐久・低汚染型の単層弾性塗材です。また、特殊設計により、防かび・防藻性を発揮するなど、多くの機能を併せ持っています。新築はもちろん、塗り替えの需要にお応えします。

優れた耐久性

オリジナル技術に基づく弾性セラミックシリコン樹脂を結合材とすることで、従来の単層弾性塗材と比べ、飛躍的に耐久性を向上させました。

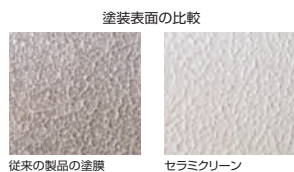


促進耐候性試験 (キセノンランプ)

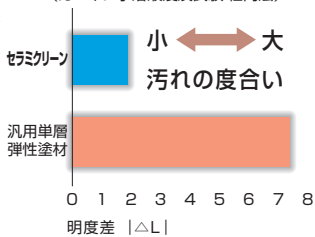
耐久性の高いセラミックシリコン樹脂の配合と、内部架橋の三次元構造により、塗膜は高耐久性を示し、長期に亘り建物を保護します。

低汚染性

表面は緻密な塗膜構造を持ち、優れた低汚染性を発揮します。



促進汚染試験結果
(カーボン水溶液浸漬試験:社内法)



ひび割れ追従性

塗膜は弾性を有し、下地の微細なひび割れに追従し、雨水の浸入を防ぎます。これによりコンクリートの中酸化防止にも効果を発揮します。

伸び率 (%)	20℃時 338	JIS A 6909 建築用仕上塗材 防水形外装薄塗材E による物性試験 (艶有り)
	-10℃時 31	
浸水後 (%)	258	
加熱後 (%)	118	



優れた透湿性

透湿性に優れた塗膜は、弾性塗膜にありがちな膨れの防止につながると共に、内部結露の防止に役立ちます。



防かび・防藻性

特殊設計により、長期に亘ってかびや藻などの微生物汚染を防ぎ、衛生的な環境を維持することができます。



安全配慮設計

材料は水性で構成されているため、溶剤などに見られる中毒や火災の心配が少なく、環境に優しい材料です。



経済的

従来の汎用単層弾性塗材に比べて耐久性が高く、長期に亘って美しい外観を維持することができるため、トータル的なコストメリットにつながります。

用途

- 戸建て住宅、マンションの内外装
- 店舗、事務所、工場、倉庫などの内外装
- 学校などの公共施設の内外装

適用下地

- コンクリート、セメントモルタル、ALCパネル、スレート板、各種旧塗膜(活膜)の塗り替えなど

標準施工仕様

● 新築仕様

共通工程

工程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	● 下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ● 付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							
1 下塗り	水性ミラクシーラーエココリヤー	既調合	0.10~0.13	1	-	2以上	-	●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレーガン 吐出量:600~1000 ml/分 パターン幅:25~30 cm

ゆず肌状ローラー仕上げ(セラミクリーン)

2 (主材塗り①)	セラミクリーン	100	0.8~1.1	1	-	3以上	-	●M-9ローラー (マステックローラー)
	清水	2~4	-					
3 (模様塗り②)	セラミクリーン	100	0.2~0.3	1	-	-	24以上	●ウールローラー
	清水	5~10	-					

SPタイル仕上げ(セラミクリーン)

2 (主材塗り①)	セラミクリーン	100	0.4~0.5	1	-	3以上	-	●SPローラー (マステックローラー細目)
	清水	3~5	-					
3 (模様塗り②)	セラミクリーン	100	0.4~0.5	1	-	-	24以上	●SPローラー (マステックローラー細目)
	清水	3~5	-					

ステップル仕上げ(セラミクリーン)

2 (主材塗り①)	セラミクリーン	100	0.3~0.4	1	-	3以上	-	●ウールローラー
	清水	4~6	-					
3 (模様塗り②)	セラミクリーン	100	0.3~0.4	1	-	-	24以上	●ウールローラー
	清水	4~6	-					

吹放し仕上げ・凸部処理仕上げ(セラミクリーンタイル)

2 (主材塗り①)	セラミクリーンタイル	100	0.7~1.2	1~2	2以上	2以上	-	●リジガン 口径:4~6mm 圧力:392~588kPa (4~6kg/cm)
	清水	5~8	-					
3 (模様塗り②)	セラミクリーンタイル	100	0.6~1.0	1	-	凸部処理 (0.5以内)	吹放し 24以上	●タイルガン 口径:6.5~8mm 圧力:392~588kPa (4~6kg/cm)
	清水	0~3	-					
(4) 凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シナーAを付けて凸部を押さえる。						24以上	-

● 改築仕様

改修工法(多機能型単層弾性塗装システム)

下地調整	● 旧塗膜に脆弱層がある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒などをを用いて除去し、ミラクファントKC-1000などで段差修正後、パターンの復元を行ってください。なお、下地調整塗材(ミラクファントKC-1000、ミラクファントKC-2000、ミラクファントKC-3000など)を用いる場合は、下地調整後、水性ミラクシーラーエココリヤーなどの下塗材を塗付してください。 ● 高圧洗浄(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							
1 下塗り	水性ソフトサーフSG	100	0.30~1.0	1~2	3以上	3以上	-	●ウールローラー ●刷毛 ●SPローラー (マステックローラー細目) ●エアレススプレーガン 吐出量:800~1000 ml/分 パターン幅:25~30 cm
	清水	5~8	-					
2 主材塗り	セラミクリーン	100	0.9~1.2	1~2	3以上	-	24以上	●M-9ローラー (マステックローラー)
	清水	2~4	-					

■ 荷姿(標準塗坪)

水性ミラクシーラーエココリヤー(クリヤーホワイト)

.....15kg石油缶(115~150m²/缶)

水性ソフトサーフSG

.....16kg石油缶(16~53m²/缶)

セラミクリーン(艶消し・半艶・艶有り)※

.....16kg石油缶(ゆず肌状ローラー仕上げ:11~16m²/缶)

(SPタイル仕上げ:16~20m²/缶)

(ステップル仕上げ:20~26m²/缶)

(改修工法:13~17m²/缶)

セラミクリーンタイル

.....16kg石油缶(吹放し仕上げ:7~12m²/缶)

※セラミクリーンは艶有りのみがJIS表示の対象製品です。

■ 危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に上記の★のついている製品は溶剤形であるため、下記の点に注意してください。
1. 引火性液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に入らないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

■ 施工後の注意

本製品には微量の揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

■ 施工上の注意点

- ALC/パネル、多孔質下地、粗面、その他、下地に問題がある場合には、SFアンダー(20kg石油缶)、カケンファイバー(粉体/20kg袋、混和液/10kg石油缶)、またはミラクファントKC-1000(粉体/20kg袋、混和液/5kgポリ容器)などで下地調整を行ってください。なお、改築工事には、ミラクファント各種をご使用ください。
- 下塗りには必ず指定の材料をご使用ください。ツキシーラーW(15kg石油缶)を使用することにより、より一層の透湿性が期待できます。また、下塗りにはこの他、水性ミラクシーラーエココリヤー(15kg石油缶)もご使用いただけます。また、その他の適用シーラーを含め各種下地に対する処理においては、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 水性ミラクシーラーエココリヤーは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けるとともに、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
- 押出成形セメント板、GRC板、PC部材などには下塗材として、★エスケーハイブリッドシーラーEPO(15kgセット)、または★ミラクシーラーEPO(15kgセット)をご使用ください。なお、軽量PC部材への施工は避けてください。
- セラミクリーンの材料調合では、泡をかまないように攪拌してください。
- 凸部処理を行う際には、灯油などの他の材料の使用は絶対に避けてください。
- 改築工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により、旧塗膜を傷め、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- 主材施工後、塗膜が完全硬化するまでの時間内に降雨があった場合、面や天端などの埃が溜まりやすい箇所から汚染が生じることがあります。塗装後、降雨が予想される場合は、シート養生を行うなどして、降雨に当たらないように注意してください。
- 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓廻り水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がからまない部位などは、注意が必要です。
- マステックローラー細目はメーカーにより目の大きさが異なる場合があります。SPローラー以外のマステックローラー細目を使用の際はご注意ください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- 塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じようとする場所、あるいは軒天などの水が回り込む危険性のある場所での使用は避けてください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- かびや藻が付着している場合は、SKKカビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取るなど、適切な下地処理してから塗装してください。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- 低温又は高温湿度時には、乾燥が遅くなりまのでご注意ください。
- 補修塗りの際、仕上がりの違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がりを確認した上で希釈率等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗り仕上げの肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- 艶調整品(艶有り以外の半艶、艶消しなど)は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗厚差、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で見つらぬを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性がある部位への施工は避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。なお、しみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- 強風時、または降雪、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- 軽量モルタル、ALC/パネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどを用いた高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱された水の影響や下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なると、パネルの変形や塗膜の膨れ、剥がれなどを生じることがあります。ご採用に当たっては、最寄りの営業所にご相談ください。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- 公共建築工事標準仕様(新築・改修)につきましては、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

